2026.11.9

韓国微生物検査学会（KSCLM）参加報告

参加者：島川宏一（国立感染症研究所 所外研究員）　大沼健一郎（神戸大学医学部附属病院）
武藤沙起里（東京都立広尾病院）　静野健一（千葉市立幕張海浜病院）

〔行程〕 :10 月 29 日（木） 渡韓・ソウル市内にて合流
30 日（金） 韓国寄生虫博物館見学 ←韓国寄生虫博物館 HP
病院見学；The Catholic University of Korea Seoul St. Mary's Hospital
（Address : 505 Banpo-dong, Seocho-gu, Seoul ; 1,250 床）
10 月 31 日（土） 대한임상미생물검사학회 학술대회 参加
（第 36 回大韓臨床微生物検査学会学術大会）
会場：Chung-Ang University Hospital ・日韓検査技師会議開催
11 月 1 日（日） 解散・各自帰国

〔発表〕 日韓合同シンポジウム：
「Comparison of parasitic examination in Japan and Korea: A review based on questionnaire surveys」 Kenichiro OHNUMA
ポスター発表
「Two cases of *Escherichia albertii* isolated from patients with bloody stool」Kenichi SHIZUNO
「Macrolide resistance-associated 23S rRNA gene mutations in *Mycoplasma pneumoniae* and their impact on antimicrobial selection based on GENECUBE test results」 Saori MUTO

2026 年 10 月 31 日に開催された、第 35 回大韓臨床微生物検査学会秋季学術集会に学会員 4 名が参加しました。学会前日には、大韓微生物検査技師会に韓国寄生虫博物館ツアーと病院見学を準備いただきました。見学した病院では微生物検査における様々な取り組みが紹介され、日本でも参考にすべき点が多く認められました。

学会では、島川国際委員の長年の日韓交流への貢献に対し、表彰盾が授与されました。シンポジウムでは大沼技師が日本国内の寄生虫検査の現状と課題、取り組みについて発表され、韓国側からは全国調査状況や、韓国で注意が必要とされている吸虫症が紹介されました。

ポスター発表は 2 演題を行い、発表時間は 3 分と短いですが、聴講した韓国の技師から質問が寄せられました。KSCLM でのポスター発表者には、学会より宿泊補助（2 泊分）が提供されるため、ぜひ興味のある方はご発表を検討ください。

例年 6,7 月頃に学会ホームページに募集を出します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

文責：静野

参加者の声:

神戸大学医学部附属病院検査部　大沼　健一郎

今回の学会では、シンポジウムの一題として、日本国内の寄生虫検査の現状と課題、取り組みについてのアンケート結果を発表しました。アンケートにご協力いただきました国内の多くの先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。シンポジウムでは国内ではまだ知られていない寄生虫の虫卵や嚢子の自動鏡検機器の演題を拝聴できた他、寄生虫博物館の見学では、韓国における寄生虫感染症の変遷や対策の歴史を学ぶことができました。シンポジウム会議や懇親会の場では寄生虫検査の現状や課題について活発な意見交換ができました。また、病院見学にも連れて行っていただくなど、短い期間ではありましたが、大変充実した時間を過ごすことができました。近年、従来の寄生虫感染症が減少する一方、免疫抑制剤を使用する患者の増加などにより、寄生虫検査に求められる役割も変化していると感じています。今後は、従来の形態学的検査技術を継承しつつ、分子生物学的手法を取り入れた検査体制の充実が望まれます。今回の交流を契機に、日韓で知識や経験を共有し、寄生虫検査の発展につなげていきたいと思います。

東京都立広尾病院検査科　武藤　沙起里

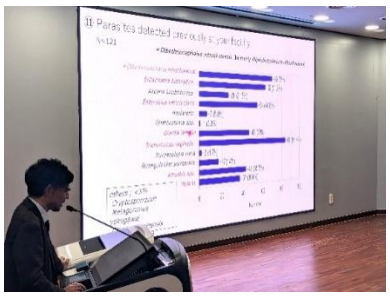
韓国微生物検査学会に初めて参加させていただき、ポスター発表を行いました。英語でのプレゼンも初めての経験のため緊張しましたが、聴講者の皆様がとても熱心に聞いてくださり、あっという間の 3 分間でした。今回の合同シンポジウムテーマは「寄生虫」であり、シンポジウムを通して日本と韓国での様々な違いを学ぶことができました。

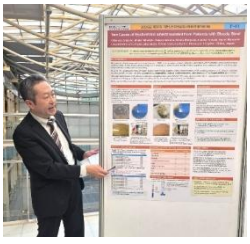
学会前日には、寄生虫博物館と病院見学をさせていただきました。寄生虫博物館は、寄生虫を可愛らしいイラストで表現していたり、タッチパネルに触れながら学ぶ教材があったりと、子供が興味を持って学べるような工夫がされており、大人の私たちでも楽しく学べました。病院見学では、使用している機器や培地、検査方法などを説明していただきました。様々な違いはあるものの、患者さんのために「正確・迅速・最適な検査結果の提供」に取り組む点は、同じ微生物検査を行う検査技師として同じであると感じました。これを機に、検査方法や運用面などを参考にさせていただき、自施設でも取り入れていきたいと思います。

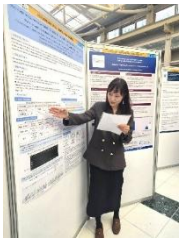
今回、このような貴重な機会を与えていただきました学会関係者の皆様に感謝申し上げます。



ファン・ユヨン会長（左）　島川国際委員(右)


シンポジウム講演：大沼技師


ポスター発表：静野


ポスター発表：武藤技師


寄生虫博物館見学